

# センタービーム格子柵 施工の手順-1/3

※作業前に所定の材料部材がそろっているか確認してください。

## 警告

設計強度は、水平荷重390N(40kg)/m、垂直荷重590N(60kg)/mです。  
一度に多くの人が寄りかかったり乗ったりしますと曲がったり倒れたりする恐れがあります。

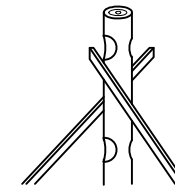
## 注意

1. 格子パネルは設置方向と位置が決まっています。指定の位置と方向を厳守して下さい。  
施工方向や設置場所を違えると設置できなくなることがあります。
2. 組立時には擬木の間に指をはさまないようにご注意ください。
3. 擬木は加工時（屋内）と施工時（屋外）の温度変化によって伸縮します。  
冬季の早朝は5~10mm短くなる場合がありますし、春から秋に直射日光に当たりますと5~15mm伸びることがあります。  
施工直前まで覆いを掛ける等直射日光に当たらないようにして下さい。
4. 格子の締め付けがゆるい場合は施工後に回転しなくなるまで下側から締め付けて下さい。  
(施工前にパネルの増し締めをしますと支柱と合わなくなります。)

## ※施工前の増し締め禁止

※格子パネルの重量は  
1. 5m=33kg  
2. 0m=43kg

重量物ですので持ち運びにご注意下さい。



※支柱は垂直を確認して下さい。

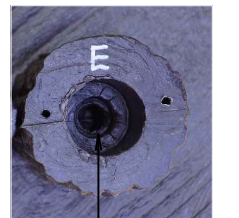
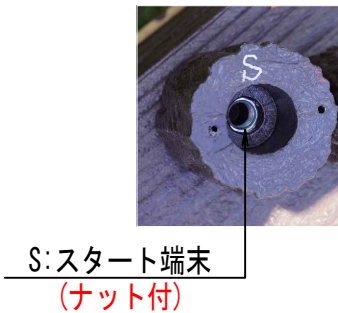
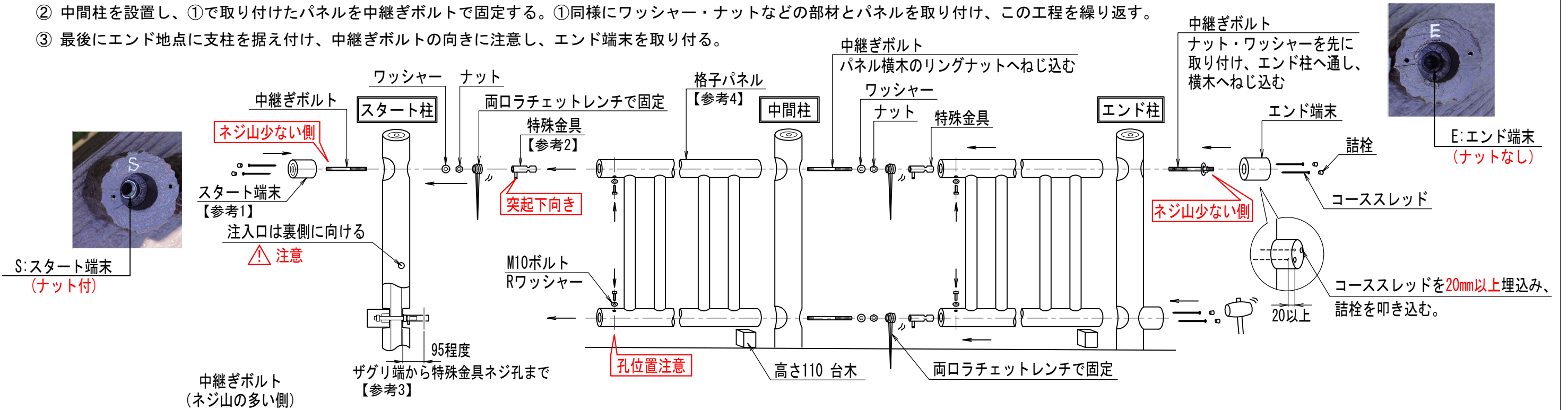
## 準備工具類

1. 24mm 両口ラチェットレンチ **注意**
2. ハンマー・カケヤ
3. 19mmソケットレンチ
4. 17mmスパナ
5. インパクトドリル プラスビット#2
6. 台木 (高さ110mm程度)
7. 電動マルノコ・ディスクグラインダ

※製品の特性上、格子間隔がずれることがあります。  
現場にて調整してください。(3/3ページ参照)

## 平地部の施工方法

- ① 施工方向と部材の向きを確認し、スタート地点に支柱を据え付け、下図のようにスタート端末に中継ぎボルトをねじ込む。【参考1】  
ボルトを柱に通し、ワッシャー・ナットを取り付け、両口ラチェットレンチで締め付ける。突起を下向きにし、ねじ込み距離が95mm程度になるよう特殊金具を取り付ける。【参考2・3】  
格子パネルを孔位置に注意して合わせ、特殊金具と上下横木をボルト固定する。【参考4】
- ② 中間柱を設置し、①で取り付けパネルを中継ぎボルトで固定する。①同様にワッシャー・ナットなどの部材とパネルを取り付け、この工程を繰り返す。
- ③ 最後にエンド地点に支柱を据え付け、中継ぎボルトの向きに注意し、エンド端末を取り付ける。



【参考1】 スタート端末取付  
端末にボルトをねじ込んでおく



【参考2】 特殊金具取付  
手でねじ込む



【参考3】 特殊金具ねじ込み距離  
金具の突起が下向きになるよう調整



【参考4】 パネル取付  
特殊金具に差し込む



<中継ぎボルトセット>  
ボルト:1本  
ナット:1コ  
M18丸ワッシャー:1コ  
端末・中間柱・一定勾配傾斜部用



<特殊金具セット>  
特殊金具:1本  
ボルト:1本  
R付ワッシャー:1コ  
パネル進行方向の先頭側に取付



<端末セット>  
端末:1本  
コーススレッド:2本  
詰栓:2コ  
スタート端末(S)・エンド端末(E)

# センタービーム格子柵 施工の手順-2/3

## ■傾斜部の施工方法

- ① 平地部と同様にスタート柱を据え付ける。下図のようにスタート端末に中継ぎボルトをねじ込み、柱に通し、ワッシャー・ナットを取り付け、両ラチェットレンチで締め付ける。突起を下向きにして特殊金具を取り付ける。【参考1】 格子パネルを孔位置に注意して合わせ、特殊金具と上下横木をボルト固定する。【参考2】
- ② 中間柱を設置し、①で取り付けしたパネルを中継ぎボルトで固定する。①同様にワッシャー・ナットなどの部材とパネルを取り付け、この工程を繰り返す。
- ③ 最後にエンド地点に支柱を据え付け、中継ぎボルトの向き注意し、エンド端末を取り付ける。【参考3・4】

### 特殊金具位置の決め方

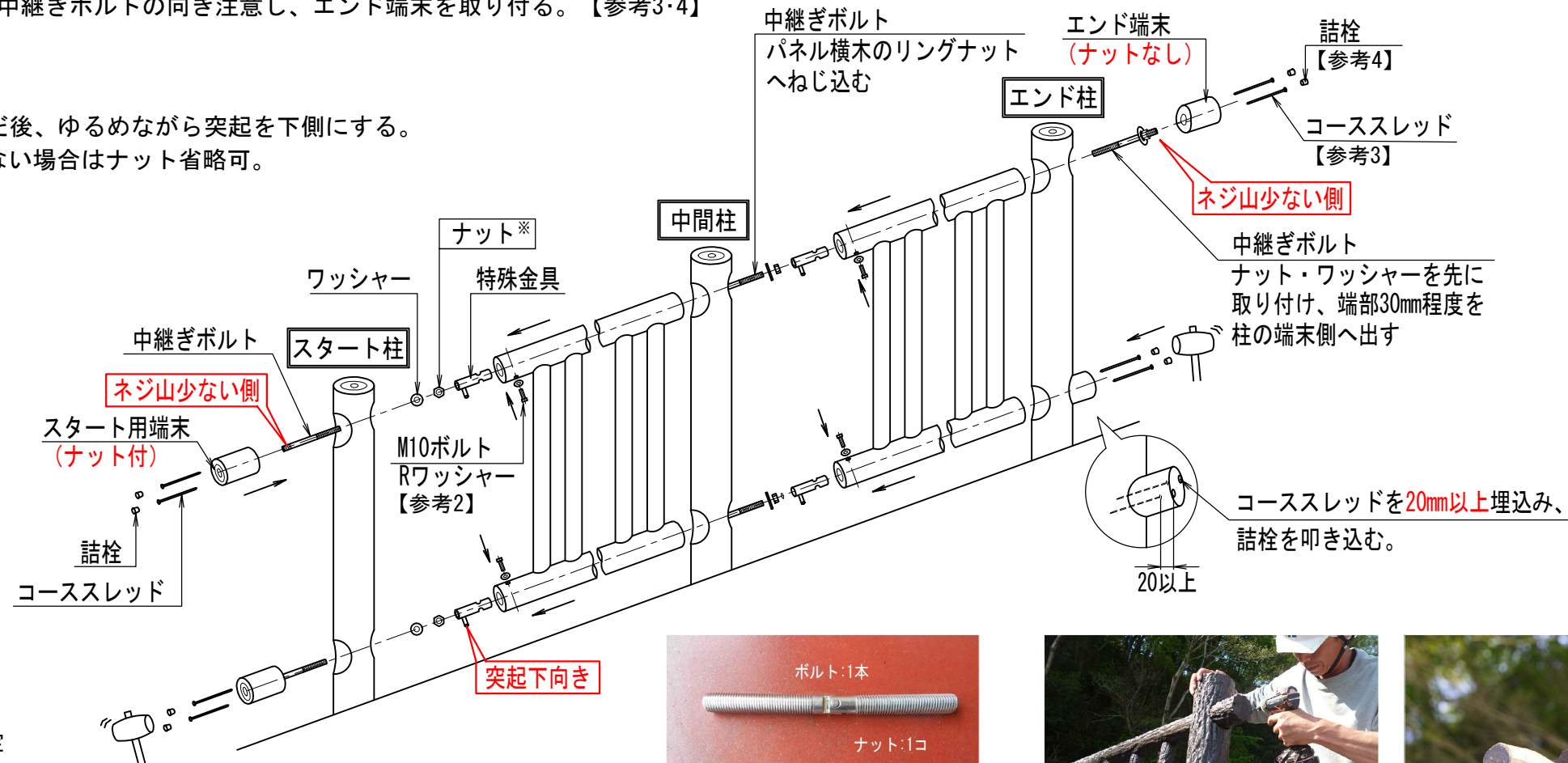
支柱側のナットに当たるまでねじ込んだ後、ゆるめながら突起を下側にする。  
 ※ナットが傾斜角度によって取り付けられない場合はナット省略可。



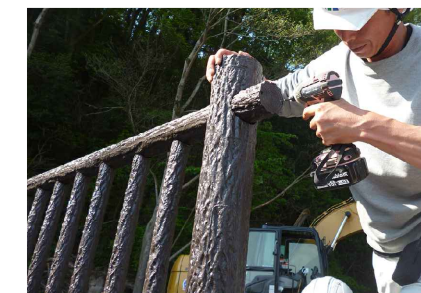
【参考1】スタート柱上部



【参考2】M10ボルト・Rワッシャー固定



<自在ボルトセット>  
コーナー部・勾配変化点用



【参考3】コーススレッド打込み

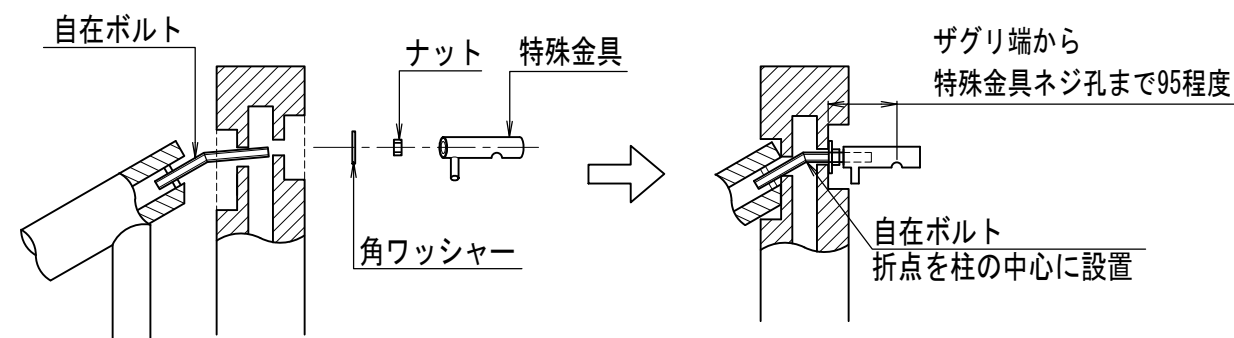


【参考4】詰栓取付

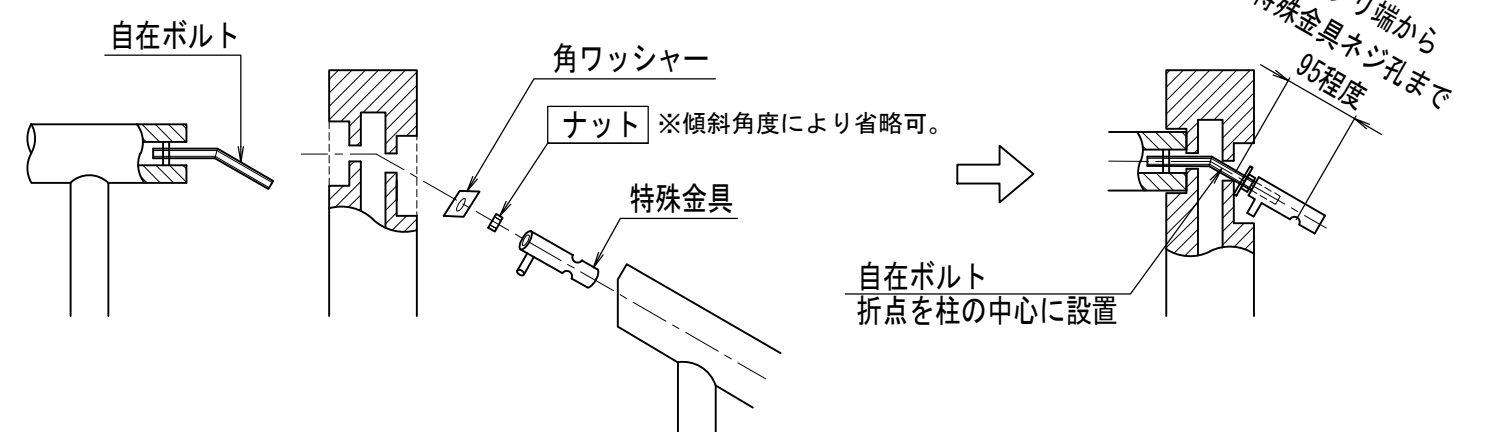
## ■勾配変化点の施工方法

- ① 自在ボルトを横木に取り付け、柱の中心へスライドさせる。
- ② 支柱に通ったら角ワッシャー・ナットを締め付け、特殊金具・パネルを取り付ける。

### <傾斜から平地の場合>



### <平地から傾斜の場合>

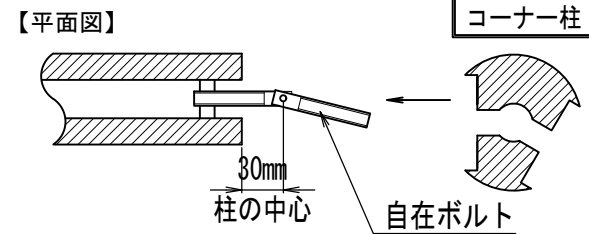


# センタービーム格子柵 施工の手順-3/3

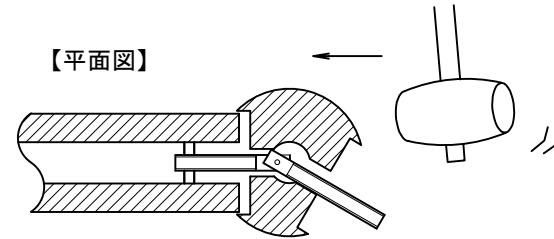
## ■コーナー部の施工方法

<110° 以上の場合>

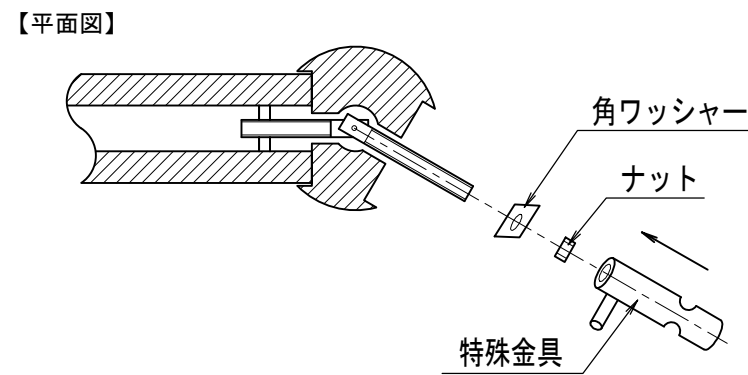
① 自在ボルトを横木に取り付け、柱をスライドさせる。



② カケヤで支柱をたたき込む。



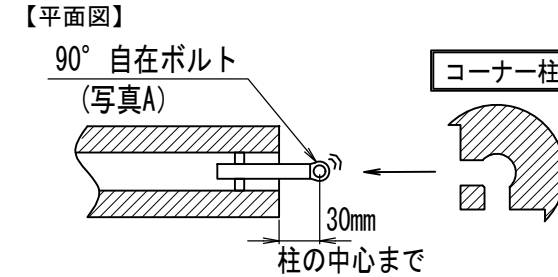
③ 角ワッシャー・ナットを締め付け、特殊金具・パネルを取り付ける。



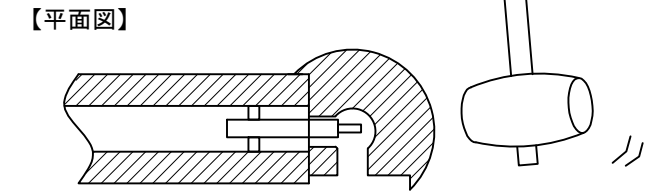
<自在ボルトセット>  
コーナー部・勾配変化点用

<90~109° の場合>

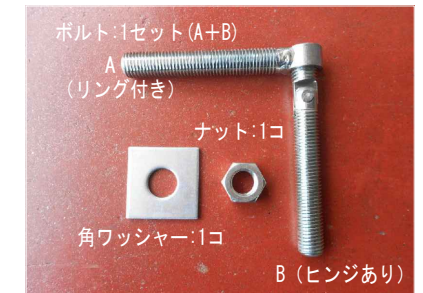
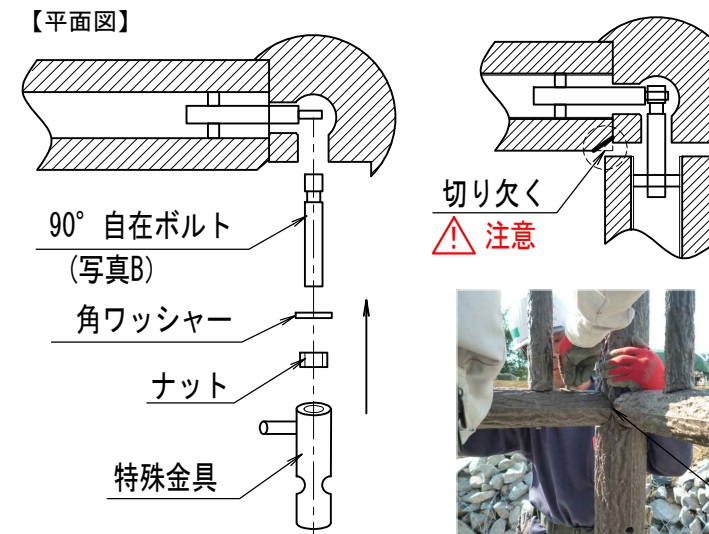
① 90° 自在ボルト (のナット側を横木の手前)に取り付け、柱をスライドさせる。



② カケヤで支柱をたたき込む。



③ 角ワッシャー・ナットを締め付け、特殊金具・パネルを取り付ける。



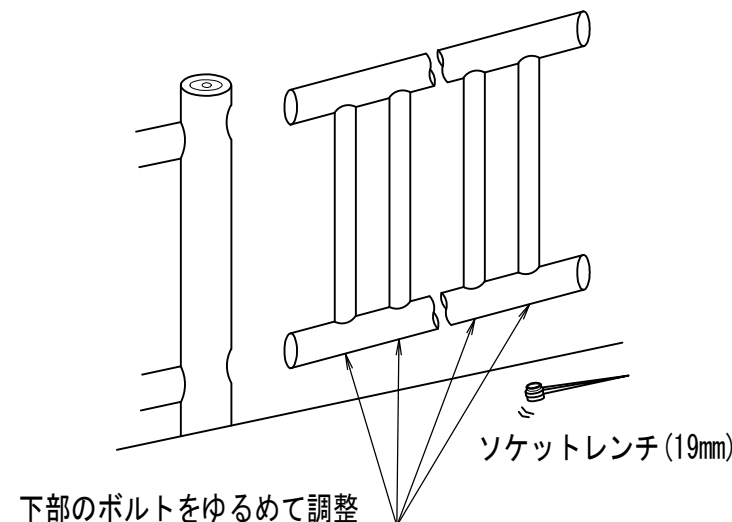
<90° 自在ボルトセット>  
直角コーナー部用

横木同士が干渉し合うため、ノミやマルノコで干渉部をカットしてはめ込んで下さい。

## ■各種微調整の方法

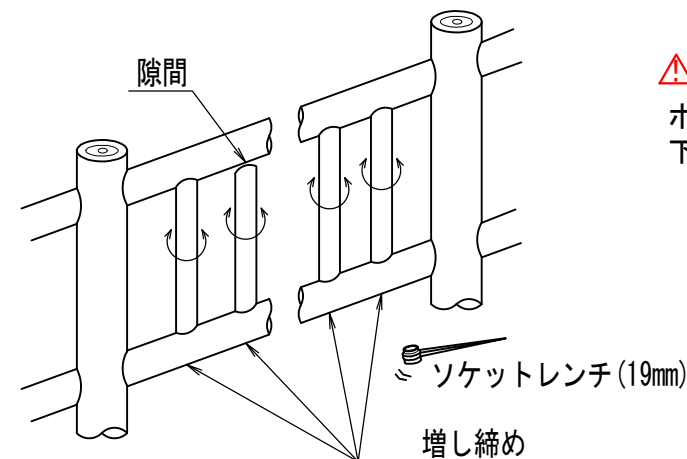
### 傾斜角度の微調整

上下の横木の位置が合わない場合は縦格子下部のボルトをゆるめて調整。



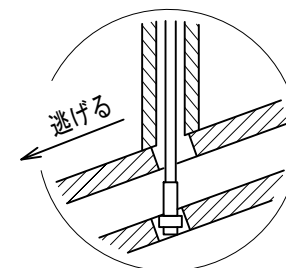
### 上部の隙間格子のガタツキの調整

縦格子が回転しないように下部のボルトをバランス良く増し締めする。



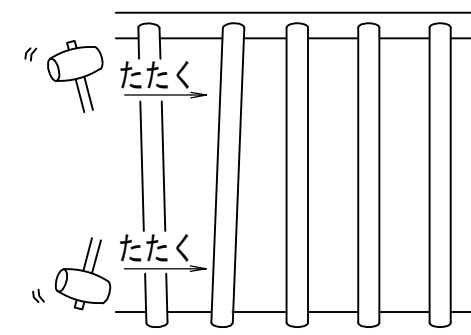
⚠️ 注意

ボルトを締めすぎると格子が下方にずれて隙間が出来ます。



### 格子間隔の調整

縦格子をカケヤなどで傷つかない程度にやさしく叩き、間隔を調整する。その後、下部のボルトを増し締めする。



⚠️ 注意

製品の特性上、格子間隔がずれることがあります。その場合、現場で左記の調整を行ってください。

### 柱と横木の隙間調整

※傾斜が急で支柱と横木の隙間が大きい場合は横木を持ち上げ、コーススレッドビスで固定してください。さらにコーキング材で隙間を埋めると効果的です。